

ORICON

2015年3月期 第1四半期決算 補足資料

2014年8月4日

2015年3月期 第1四半期決算の概要

- 音楽市場全体の縮小の影響を受け、フィーチャーフォン向け着うたフル・着うた・着メロが、売上を縮小。音楽産業向けの広告販売(雑誌・WEBサイト)も苦戦。
- 顧客満足度ランキング連動型広告の販売は、引き続き堅調。その他のWEBサイト広告のうち、特に、スマートフォン向けサイトの広告販売が前年同期比3.6倍に拡大。
- 前連結会計年度より開始している新規事業については、引き続き積極的に推進。
 - ①再生可能エネルギー分野における取り組み
 - ・東京工業大学との共同研究(マイクロ波を再生可能エネルギー分野に応用する研究)を発展させるため、東京工業大学内に共同研究講座を開設。
 - ・特許出願済みのマグネシウム燃料電池関連の研究成果(東北大学小濱泰昭名誉教授実施の研究成果6件)については、うち1件(基本特許とも言えるもの)の早期特許取得を目指し、共同出願者(東北大学および産総研)と特許庁に審査申請を実施(2014年6月3日付)。
 - ・研究開発などに活用可能な資金を増やすため、第2号のメガソーラーの設置を決定。
 - ②ビッグデータを活用する取り組み
 - ・日本株式のポートフォリオを最適化するサービスを本年12月までに有料で提供開始することを目指し、立ち上げ業務を継続的に推進。新サービスの根幹となる日本株式運用モデルの精度を上げるため、バックテストを繰り返し実施。ユーザーインターフェイスの開発も進展。
 - ・新サービスの提供が金融商品取引法で規定されている投資助言・代理業に該当していると判断。関東財務局への登録が完了(2014年5月23日付)。

連結損益計算書



(単位:百万円)	2014年3月期 第1四半期	2015年3月期 第1四半期	増減	
			金額	増減率
売上高	1,259 (100%)	1,083 (100%)	▲176	▲14.0%
売上原価	698 (55.5%)	557 (51.5%)	▲140	▲20.2%
差引売上総利益	561 (44.5%)	525 (48.5%)	▲35	▲6.4%
販管費	403 (32.1%)	442 (40.8%)	38	9.5%
営業利益	157 (12.5%)	83 (7.7%)	▲74	▲47.1%
経常利益	145 (11.5%)	71 (6.6%)	▲73	▲50.4%
税金等調整前 四半期純利益	145 (11.5%)	71 (6.6%)	▲73	▲50.4%
四半期純利益	76 (6.0%)	27 (2.5%)	▲48	▲63.7%

主な減収要因

- フィーチャーフォン向け配信
(着うたフル・着うた・着メロなど)
[150百万円減(31.7%減)]
- 雑誌事業 [35百万円減(14.8%減)]
- ソーシャルゲーム事業
[27百万円減(48.7%減)]

主な増収要因

- 顧客満足度ランキング連動型広告
などのWEB広告販売
[17百万円増(7.9%増)]
- 太陽光発電事業
[15百万円]

モバイル事業の売上減少に伴い、音源使用料が53百万円減少。

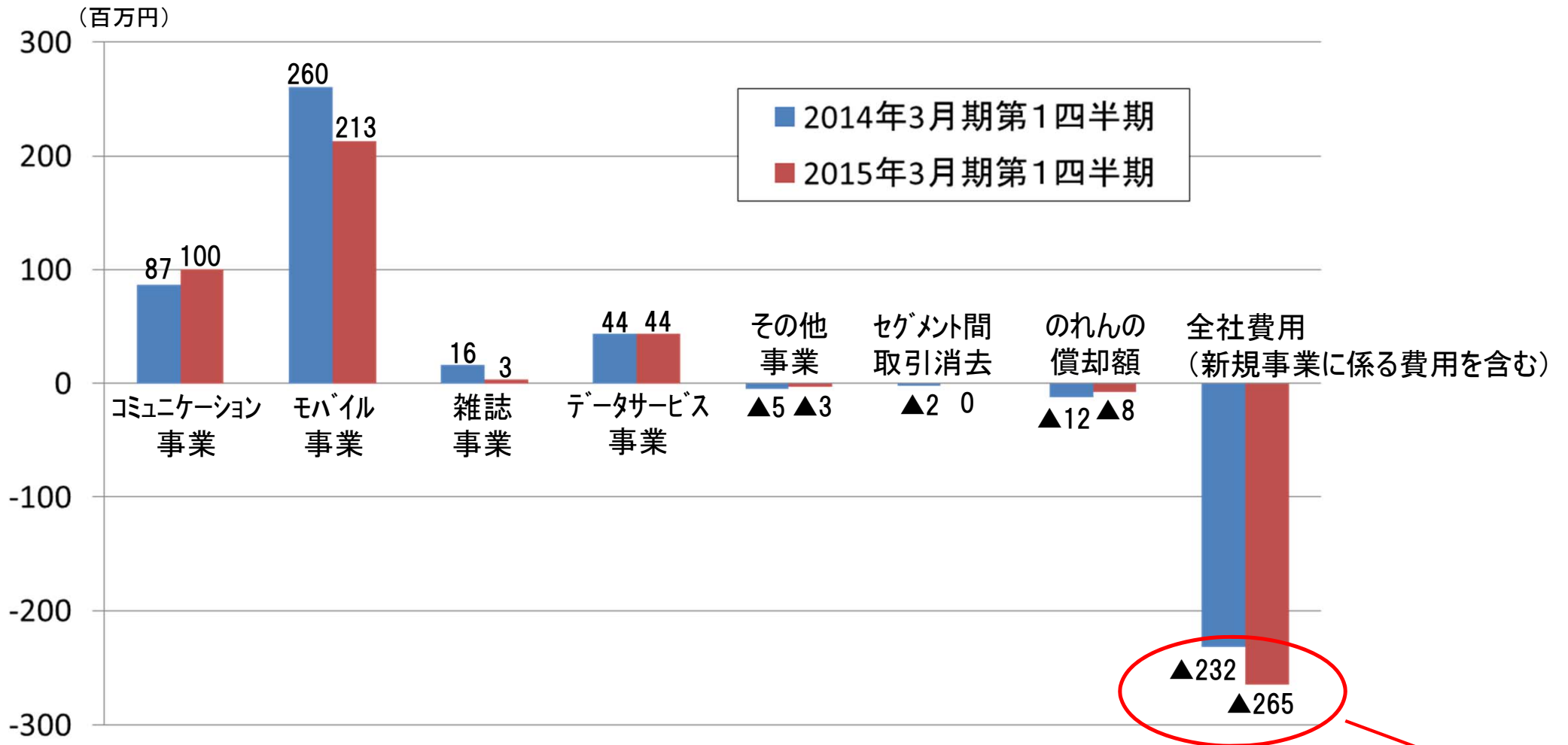
ビッグデータを活用する取り組みに伴い、新たに発生した費用として17百万円を計上。

報告セグメント別売上高



	2014年3月期 第1四半期	2015年3月期 第1四半期	増減	
			金額	増減率
(単位:百万円、百万円未満を切捨て)				
コミュニケーション事業	249	271	21	8.7%
WEB広告販売	219	237	17	7.9%
顧客満足度ランキング連動型広告	124	132	8	6.8%
バナー型広告・タイアップ型広告等	95	104	8	9.3%
データ販売・ニュースコンテンツ販売等	29	34	4	14.4%
モバイル事業	575	422	▲152	▲26.5%
フィーチャーフォン向け(着うたフル・着うた・着メロ・情報系)	473	323	▲150	▲31.7%
スマートフォン向け音楽配信	101	99	▲2	▲2.0%
雑誌事業	242	206	▲35	▲14.8%
データサービス事業	134	137	3	2.3%
その他(ソーシャルゲーム事業、太陽光発電事業等)	57	44	▲12	▲22.3%
売上高合計	1,259	1,083	▲176	▲14.0%

セグメント利益



2015年3月期第1四半期において、ビッグデータを活用する取り組みに係る費用として17百万円が新たに発生。

連結貸借対照表



(単位:百万円)		2014年3月期末	2015年3月期第1四半期末	増減
資産合計		4,140	4,465	324
	流動資産	2,025	2,027	1
	有形固定資産	535	772	236
	無形固定資産	1,026	1,115	89
	投資その他の資産	548	545	▲2
	繰延資産	4	3	▲0
負債合計		2,089	2,503	414
	流動負債	1,371	1,778	407
	固定負債	718	724	6
純資産合計		2,051	1,961	▲89
	株主資本	2,063	1,973	▲89
	その他の包括利益累計額	0	0	0
	新株予約権	▲12	▲12	0

■ 総資産は324百万円増加。主な変動要因は、流動資産については現金及び預金の増加、固定資産については建設中の第2号大規模太陽光発電所(メガソーラー)に係る資産が加わったこと。

■ 負債合計は414百万円増加。主な変動要因は、短期借入金が増加したこと。

■ 純資産は89百万円減少。主な変動要因は、配当金117百万円の支払と当期純利益27百万円の計上。自己資本比率は44.2%となり、前期末比5.6ポイント低下。(前年同期末と比べると0.2ポイントの低下)

2015年3月期の見通し

●コミュニケーション事業

顧客満足度ランキング連動型広告は、ジャンルの追加やデータ販売の伸展により増収の見込み。スマホ向けサイトの広告など、他の広告商品の販売も堅調に推移する見通し。

●モバイル事業

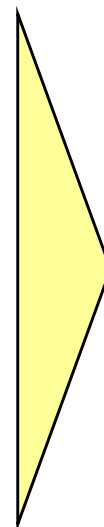
着うた・着うたフルが、市場全体の縮小の影響を受け、減収となる見通し。また、利益率の高い着メロの売上が2014年3月期は増加したが、2015年3月期はその効果が一巡するため、モバイル事業全体として減収減益になる見込み。

●雑誌事業・データサービス事業

雑誌事業は、市場環境悪化の影響を受け、減収減益が続く見通し。データサービス事業の収益は微増を見込む。

●新規事業

ビッグデータを活用する新たな取り組みとして、日本株式のポートフォリオを最適化するサービスを2014年12月までに個人向けに有料で提供開始する予定。しかし、開始後の収益の伸びを合理的に予測することが困難であるため、**当新サービスの売上を通期の連結業績予想に含めず、当新サービスに係るコストのみを含めることにしました。**



(単位:百万円)	2015年3月期 通期連結業績 予想数値	増減率
売上高	4,600	▲8.6%
営業利益	410	▲39.0%
経常利益	340	▲46.2%
当期純利益	220	7.5%

2014年5月9日に公表した連結業績予想数値は、2014年8月4日時点において、変更はありません。

報告セグメント別売上高の予想数値(2014年5月9日公表)

	2014年3月期 [実績]	2015年3月期 [予想]	増減	
			金額	増減率
(単位:百万円、百万円未満を切捨て)				
コミュニケーション事業	1,116	1,341	224	20.1%
WEB広告販売	1,056	1,278	222	21.0%
顧客満足度ランキング連動型広告	512	715	203	39.7%
バナー型広告・タイアップ型広告等	543	563	19	3.7%
データ販売・コンテンツ販売等	60	63	2	4.0%
モバイル事業	2,035	1,492	▲543	▲26.7%
フィーチャーフォン向け(着うたフル・着うた・着メロ・情報系)	1,621	1,120	▲500	▲30.9%
スマートフォン向け音楽配信	414	371	▲42	▲10.3%
雑誌事業	1,112	1,049	▲63	▲5.7%
データサービス事業	546	552	6	1.2%
その他(ソーシャルゲーム事業、売電収入等)	220	163	▲57	▲26.1%
売上高合計	5,032	4,600	▲432	▲8.6%

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

※ 着うた、着うたフルは、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

※ その他記載されている製品名、サービス名などは、該当する各社の商標または登録商標です。

オリコン株式会社

IR用ホームページ

<http://www.oricon.jp/>